

フロンティア テクノロジー シリーズ
宇宙飛行機—スペースシャトルを超えて

長友信人著 丸善刊 1300 円

書名の「宇宙飛行機」と云うのは spaceplane に
対する著者の造語で、スペースシャトルで部分的
に実現された、地表と軌道の間を、地上の二点間
を飛ぶ飛行機のように何度も往復できる宇宙船の
ことである。このような「宇宙飛行機」が早期に
実現し、宇宙が身近なものとなれば「スペースか
らの天文学」の立場は今とは大幅に異なったもの
となることは確実で、天文学者にとっても、その
動向には大いに関心があることであろう。

本書のまえがきにもあるように、ここ数年、わ
が国をはじめとする世界各国で、このような新し
いタイプの宇宙船の開発計画が次々と発表されて
いる。ところが、宇宙飛行機の開発は、これまで
の宇宙工学・航空工学の境界にあたる新しい分野
であるため、特に日本では底辺が小さく、高い頂
点を支えられる基礎すらできていないのが現状の
ようである。著者は、この現状を改善し、多くの
人の関心が高まるようにと、本書を著したそうだ。
したがって、内容は、あまり高度で専門的な分野
には立ち入らず、宇宙飛行機とはどういうものな
のか、それを実現するための技術的な問題点はど
こにあるのかを、専門外の人にもわかりやすく解

説することに力点がおかれている。

こうした目的にふさわしく、文章は、比較的平
易で読みやすく、図の分量・選択も概ね適当であ
るといえる。しかしながら、図の一部には、表現
に疑問を感じるものがいくつかあるように思っ
た。たとえば図1の人工衛星の原理図は、切手の
写真を流用したりせずに、きちんとした説明図を
起こすべきであるし、図5の代表的な衛星打ち上
げ軌道の図は、本文を読まないという図なの
のかわかりにくかった。このシリーズに共通したも
のかもしれないが、多く図がかすれた線で描かれ
ていたが、デザインよりも分かりやすさを重視し
た明瞭な図を示すべきである。本文については、
軌道6要素の説明が複雑でわかりにくかったもの
の、概ねわかりやすくすらすら読み進められた。
読後、もっと詳しい話を知りたくなった点、著者
の目的を果たせるような本に仕上がっていると思
われる。ロケットや航空機のことをあまり知らない
読者にも十分興味と理解を与えられるのではな
かろうか。

前提とされる知識は、理科系を志す人ならば高
校生でも十分に理解できるレベルであり、宇宙開
発に関心を持つ多くのひと、特に、これからこの
分野に進もうかと考えている若い人たちにお勧め
する。

半田利弘（東大理天文センター）

月報だより

秋季年会の宿舎予約について

10月中旬は観光・学会シーズンで混雑が予想さ
れております。そこで、8月号掲載の宿舎案内以
外の宿舎を東急観光(株)に斡旋して頂くことにし
ました。希望される会員は東急観光(TEL 052-
264-0109, FAX 052-264-4784:担当 市川, 天
野)へ直接、9月12日までに申し込みして下さい。
現在、右記のホテルに相当数、部屋を確保してい

るそうです。場合によってはこれ以外にも探すこ
とは可能とのことです。

	ツイン	シングル
栄東急イン	8200円	10300円
丸の内東急イン	7500円	9100円
駅前モンブランホテル	7500円	8000円
第一富士ホテル		8500円

★ツインは二人使用の場合の一人当りの料金

★料金は朝食付き、税金別の料金（8月号の東急